

# 麻生多摩美の森だより

麻生区市民健康の森 — 麻生鳥のさえずり公園

第49号 2017年1月31日発行 発行：麻生多摩美の森の会

発行責任者：間野洋

編集者：間野洋

今年度のイベント等の実績と今後の予定

会長 間野 洋

## 1、イベント等の実績

### 1) 西生田小学校関係

・入学式(4月)。・3年生の多摩美の森の観察会(5月、8月、11月)。・4年生の森での環境学習(10月)。・2年生の当会へのインタビュー(12月) 詳細は会報48号、49号に掲載。

### 2) その他のイベント

・たまみこども会新入生歓迎会(5月)  
・生田保育園多摩美の森で遊ぶ(5月)  
・麻生プレーパークを創る会(6月、10月、11月、12月)。  
・多摩美八町会盆踊り大会への協力(7月)。  
・夏の夜空の観望会(8月)。  
・「環境とみどり」のワーキンググループが多摩美の森を視察(9月)。  
・川崎・多摩美の山トラストの会が「森展」を開催(10月)、詳細は会報49号に掲載。  
・川崎市公園緑地協会主催の「花と緑の交流会」が開催され、中村敦夫氏の講演と参加団体のパネル展示が行われた。(11月)。  
・カリタス女子中学校3年生によるクリスマス奉仕で多摩美の森で里山の整備作業を行った。(12月) 詳細は会報49号に掲載。  
・麻生区社会福祉協議会等5団体主催の「麻生区賀詞交換会」が開催された。(1月)。  
・NPO法人かわさき創造プロジェクト主催の「平成28年度シニアライフ講演会」が開催された。第1部は、東京農業大学名誉教授、発酵学者の小泉武夫先生の「医食同

源のすすめ」の講演。長寿は納豆、味噌、醤油等の和食にあると言われ、病気に強い免疫細胞を増やすには、植物繊維とヨーグルトの摂取が欠かせないとのことであった。非常に became 講演でした。第2部は27団体によるパネル展示、20団体によるプレゼンテーションが行われ、非常に活気ある講演会でした。

## 2、今後の予定。

- 1) 冬の夜空の観望会。(2月4日)
- 2) 西生田小学校3年生、冬の森の観察会。(2月6日)
- 3) 里山フォーラム in 麻生。(2月25日) 企画内容は現時点で不詳。
- 4) 西生田小学校卒業式。(3月?日)

来年度に入りますが現時点で決定しているのは

- 5) 西生田小学校入学式。(4月?日)
- 6) 第15回通常総会。(4月22日) 麻生区役所会議室。

以上、20件のイベント等の紹介でした。



たまみこども会 新入生歓迎会

## 西生田小学校3年生「秋の観察体験学習」

副会長 中谷一郎

秋の森の「観察体験学習」が市民健康の森で、11月29日(火)学校のスケジュールの関係で1時間15分と短時間となりましたが、全4クラス137名の児童及び先生で実施されました。

指導は例年と同じく自然観察指導員高橋英さんと会員9名。まず初めに高橋英さんから植物は種を子孫に残すため、どのような工夫をしているかの概要を写真と実物を見せながら判り易く話されました。

学習内容は①種の旅立ち、②児童が自分で決めた課題、マイツリーが季節でどう変化しているかの2項目でこれを同時に観察。

ネイチャービンゴゲームは省略しました。

①種の旅成ちは種の運ばれ方の特徴から、モミジ:風によって、クサギ:鳥に食べられて、イノコズチ:動物に付いて、コナラ:落ちて転がるの4種類を取り上げ、各樹木の所に1~2名の説明員が立ち、クラスごとに巡回。カラー写真や実物を見せながら説明しました。モミジでは羽を付けて種が飛行する所を見せ、メープルシロップが採取できます。クサギは葉をもんで名前の由来の臭さや赤と濃紺で飾った2色効果が鳥を呼ぶこと、この果実で上品な浅青色の染料が採れ、草木染めになる事、マフラーの実物を見せると綺麗だねと喜んでいました。イノコズチ、センダングサ(ひっつき虫)では衣服に付着させていました。コナラでは葉の間にある小さなドングリの写真や樹木の皮の特徴を聞き、その後、シイタケのホダ木の実物でシイタケがついているのには歓声をあげ、ほしい、ほしいと言っていました。広場の藤棚の下のテーブルには色々なドングリ、オニグルミ、クサギ等の写真、実物も置き、それを見て熱心に高橋英講師に質問し、記録ノートに絵と文章を書き込みました。短時間ですが充実した、観察会になりました。



(高橋先生による「種の旅立ち」の説

## 西生田小学校2年生「町探検パート2」

「ハートをつなごう」副会長 中谷一郎

平成28年12月14日(水)9:30~10:15 あいこくの小雨でしたが管理棟のなかで4組の内各クラス4~5名の子もたち、計18名から各1問ずつのインタビューを間野会長、オブザーバー1名計3名で受けました。昨年の学校だより12月号で杉本校長先生が今年度から生活科と総合的な学習の時間の研究を推進しており、新しい時代に必要となる資質・能力は「何を知っているか、何ができるか」「知っていること・できることをどう使うか」「どのように社会・世界と関わり・よりよい人生を送るか」の三本が示されていると書かれています。

2年生の生活科の学習では、人や自然とふれあいながら自ら学び考えるちからの育成に取り組みその中で自分の町をもっとよく知り人々とのふれあいを深めたいと「町探検パート2」「ハートをつなごう」をテーマに子どもたちが学習します。

そこで子供たちにどんな思いをもって活動に取りくんでいるかなど18項目の質問でしたが紙面の関係で全部は記載出来ませんので主な項目では1)どうして多摩美の森の会に入ったか:人により入り方は異なるが森を大切にしたいから、交流が深まるから、健康のため等、2)楽し時はどんな時ですか:草刈したり、木を切ったりした後の2ヶ月1回の食事でさらに交流を深められる時、3)多摩美の森ではなぜ池がないのですか:昔ここは谷戸で下の田んぼが洪水で浸かった、現在は無いと思いますがそれで造りません。4)木をどうして保っているのですか:倒れそうな木を切り、新しく植樹したりしています。その他の質問は壁新聞等で発表するようで、どう感じたか楽しみにしています。また幼稚園、魚屋さん、パン屋さん等をインタビューした子どもたちの発表も知りたいものです。



(森の家で子供たちの質問を受ける)



## カリタス学園中学3年生のクリスマス奉仕活動 会長 間野洋

(公財)川崎市公園緑地協会主催の表記のクリスマス奉仕活動が12月19日(月)当会の健康の森、多摩美みどりの会の管理地、多摩緑地保全地区の3ヶ所で企画、実施された。参加は女子中学生180人。

この奉仕活動は平成24年に始まり、今年で5年目になります。活動内容は里山整備のボランティアです。

### ● 作業内容と指導するスタッフ

A: 足を使って「作業区域のマップ作り、とアボイド調査(危険木の調査)」スタッフはつかず、先生とパトロール。(90名)

B: 鋸と剪定はさみで「粗朶作り」30名。スタッフは3名。

C: 鎌を使って「ササ刈り、蔦とり」30名。10名は「多摩美ふれあいの森」へ。スタッフは計3名。

D: 竹引鋸を使い「竹林整備」の予定であったが、当会が纏めている折れ枝、剪定木等を適当な長さに切って束ねる作業に変更となった。(30名) スタッフは3名。

### ● 作業内容の詳細

A: 危険木はほとんどないので枯れた樹木のチェック。区域のゴミ、空き缶の収集。マップ作りは苦戦しました。

B: 下の畑の傍の伐採後5~6年経過した篠竹を切断し、束ねて広場の北側に運搬。(後日、焼却する為)



(篠竹の切断・束ね・運搬)

C: この作業は同じ場所で5年間継続している。蔦の除去は毎回難作業です。除去された篠竹、蔦は傍の1ヶ所に集積した。

多摩美ふれあいの森での作業は、広場の北西部のササ刈りを行った。



(蔦の除去作業)

D: 多摩緑地保全地区の竹林整備は急遽中止となり、当会が広場の北西部に集積している長い折れ枝、剪定した枝を適当な長さに切断し、束ねる作業となった。この束ねた枝や丸太は、今後広場西側の樹林内に構築しているカントリー-ヘッジに運ぶ予定で、微生物、ダンゴ虫、昆虫等を繁殖させ鳥を呼び寄せる生物多様性に繋げる。



(枝・木を切断し束ねる)

作業は13:30より2時間で事故もなく完了。この奉仕作業には何時も180人以上の生徒に参加してもらっているため、当会でのたまっていた作業が一挙に片付き、大変感謝しています。主催の協会および学園の皆様には、来年度もよろしくお願い致します。

## 楽しさに溢れた 2016年秋「森展」

2016年の第5回「森展」は、10月23日の「アートパーティー」で幕を開けた。

会場は、「麻生多摩美の森の会」の方々が、何時もきれいに手入れしてくださっている、我らの「麻生区市民健康の森」

大きな木の下で、爽やかポップユニット「クローバー」、自然を唄う「ナカニシタカアキ」の音楽、宮沢賢治の童話を二人芝居で演じる「さわたり組」、劇作家の阿藤智恵率いる「絵本シアター」の森でおはなしが、会場を盛り上げてくれた。

▼「森でおはなし」に群がる親子



広場には、木工や段ボールで作るパタパタとりさん、ハンモック作りや葉っぱで作る陶芸のお皿、チョコレートアート、小枝のブローチ作りやシュロの葉細工やフラワーアレンジメント、ウインドウガーランドなどなど、子どもから大人まで楽しめるワークショップが並び、親子ヨガや珈琲の焙煎体験、地域のお店が特別に作ってくれたお弁当やワインのお店まで賑やかに、笑顔と笑い声が溢れた。

広場の周りには、180×450cmの大きなキャンバスに思い思いの絵を描く人たち、そして、造形作家のオブジェや布工芸、子どもたちの絵や版画、工作が飾られ、澄み渡る秋空の下、約150人の人が素敵な一日を楽しんだ。

また、小田急読売ランド前駅北の周辺ギャラリー3軒にも、子どもたちから大人、アマチュアからプロの様々な作品が飾られ、展覧会は10月30日までの一週間好評の内に幕を閉じた。

展覧会は、出展者希望者も増えており、作品種類も広がって、年々その素晴らしさを増している。

「森展」は、みんなが作るみんなの展覧会。

森に飾られる作品は、この恵まれたみどりへの私たちからの感謝の気持ち。そして、この催しによって、訪れる多くの人に多摩美のみどりを知ってもらい、楽しんでいただくことが願いです。

川崎・多摩美の山トラストの会 須田和順

### 今後の活動予定

副会長 中谷一郎

新年を迎えましたが今年も会員の高齢化がさらに進む様ですが、生物多様性を子供たちと共に森で調査出来れば大変励みになります、皆様も森にお出でください。

2月 4日(土)幹事会、間伐、草刈、清掃。

夜、オーロラ天文台星の観望会

2月 6日(月)西生田小3年、冬の観察会

2月19日(日)アズマネザサの蔓の除去。

2月25日(土)里山フォーラムin麻生に出展

3月 4日(土)幹事会 畑の施肥、除草。

3月19日(日)樹木の手入、草刈、清掃。

4月 1日(土)幹事会、樹木の剪定、草刈。

4月16日(日)草刈、ゴミの収集、清掃。

4月22日(土)第15回通常総会。

5月 6日(土)幹事会、草刈、清掃。

5月21日(日)里芋の植付、樹木の手入。

★この期間の作業予定は、10時～12時です

★ 会員募集中です。

一度見学にお出でになってください。

里山の楽しさを親子で味わって下。

年会費 1,000円

●多摩美の森の会のホームページでは、  
本誌のバックナンバーもみられます。

<http://web-asao.hp2/tamami/>

◆皆さんの投稿、感想をお寄せ下さい

≪お問い合わせ・連絡先≫

間野 洋 044-966-7233

Mano-h@jcom.home.ne.jp

中谷 一郎 044-945-4667

ichiro-nakatani@nifty.com